

第3回 石木ダムに係る有識者の意見を聞く場(木場地区)議事録

日時:令和8年8月18日(火)18:30~20:00

開会

○進行 県事務局

定刻になりましたので、ただいまから「石木ダムに係る有識者の意見を聞く場」を始めさせていただきますと思います。本日はお暑い中、お集まりいただきありがとうございます。

円滑な進行をするにあたって、ご留意していただきたい事項を申し上げます。

会場内におかれましては、携帯電話とか音が鳴らないよう、マナーモードとかにいただければと思いますのでよろしくお願いします。終了時間ですが、午後8時頃を予定しております。よろしくお願いします。

また、本日の開催内容につきまして、発言者を匿名にさせていただいたうえで議事録を後ほど、県庁のホームページに公開をさせていただく予定としております。よろしくお願いします。

以後の進行は、知事をお願いいたします。

知事挨拶

○進行 平田知事

皆さんこんばんは。木場地区の皆さんに今日は大変お忙しい中お集まりいただきまして、大変ありがとうございます。長崎県知事の平田研でございます。今日は、石木ダムについて有識者の意見を聞くということで、専門家のご意見を何回かに分けて聞いておるんですが、今日は木場地区の皆様方の石木ダムまたは、石木川、川棚川の流域のあり方について、いろいろご意見を伺おうということで参った次第でございます。

それでは、座って失礼させていただきます。

それで、木場地区の皆さんのところに伺いましたのは、波戸町長からもですね、ぜひ地区の皆さんのお話を聞く機会を設けてほしいという話もございまして、私も今回の石木ダムについて、いろんなご意見聞いてますけども、そういう中で、木場地区の皆様方のご意見を伺うことが大事だということで、今日お時間をいただいて参った次第であります。

ちょうど、この地区に知事が来たのは、20年ぐらい前に金子知事の時代に来たことがあるということで、それ以来だというふうに伺っております。こうして20年ぶりに訪問させていただきまして、大変ありがたく思っております。

また、他方ですね、長い間、足が遠のいておりましたことについては、誠に申し訳なく思っているところです。この間ですね、20年ほど経っておりますけども、皆様それぞれに様々な思いですとか、お考えをお持ちになっておられたことというふうに拝察をしているところでございます。

石木ダムの事業、そして、川棚川の整備につきましては、地域の安全・安心の確保に向けて、地元の川棚町を始め、多くの皆様のご理解とご協力をいただきながら、これまで取り組んできたところであります。

こうした中で、石木ダム事業の当事者である地元の住民の皆様との対話を重ねることはもとよりでありますけども、専門的な見地に基づく意見についても、改めて聞く機会を設けてほしいとの要望をいただいたところでございまして、そうしたことも踏まえて、先月12日になりますけども、1回目の「有識者の意見を聞く場」を開催しまして、治水、利水、環境といった各分野の専門家の方々からご意見を伺ったところであります。

また、専門家の方々のご意見もちろん大事なんですけども、そうした方々のご意見に加えまして、事業に関わる様々な立場の皆様から幅広くご意見をお伺いすることも大事であるというふうに思っております。本日、ご多忙の中でありますけれども、その一環としてですね、木場地区の皆様にお集まりいただいたところであります。

今後は、いただいた意見も踏まえながら、川棚川水系の河川整備計画の変更の必要性の有無について、河川管理者である知事として判断する際の参考にしてまいりたいと考えております。

第3回 石木ダムに係る有識者の意見を聞く場(木場地区)議事録

日時:令和8年8月18日(火)18:30~20:00

今日は皆様からご意見をお伺いすることを目的とした場でございますので、何か私の方から意見とか、所感を申し上げることは差し控えさせていただきまして、皆様方からのご意見をお伺いできればと思っております。率直なお考え、お気持ちをお聞かせいただければ大変ありがたく思いますし、また、本日の進行へのご理解とご協力をいただけると大変ありがたく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

総代挨拶

○進行 平田知事

それではですね、最初に総代の A 様からご挨拶をいただきたいと思いますが、A 様よろしくお願いいたします。

●A 様

皆さんこんばんは。今日はお昼間のお仕事でお疲れのところ多数寄っていただきましてありがとうございます。知事さんには、遠いところ来ていただきまして本当にご苦労様です。これから要望とか何とか、いろいろしますのでよろしくお願いします。簡単ですがご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

木場地区の方々からの意見

○進行 平田知事

それでは、早速ではありますけれども、議事に入りたいと思います。本日ご参加いただいております木場地区にお住まいの皆さんから石木ダム事業に関して、あるいは、石木川、川棚川の治水、利水、環境の在り方などについて、あるいは、この地域の地域振興の在り方について、いろいろご意見おありだと思しますので、そうしたご意見や思いを忌憚なくお聞かせいただければ、大変ありがたいと思います。今日は多くの方のご意見を伺いたいのので、目安として、お一人あたり5分程度でお願いできればと思っております。

それでは、ご発言のある方がいらっしゃったら、挙手にてお願いいたします。

●B 様

そしたら今日は、一応質問とか、知事がお答えになることはまずないということですか。

○進行 平田知事

今回の趣旨をお話ししますと、石木ダム事業の在り方、あるいは、川棚川の整備の在り方について、知事として今の計画を見直す必要があるのかどうかを判断したいと。

そのために必要な専門家のご意見とか事業に関わるいろいろな地域の方々のご意見を伺いたいという趣旨で今回参っております。

そういう意味で、今回は木場地区の皆様のご意見、お考えをお聞きをしたい、把握をしたい、というのが目的でございます。

何か、私の方から石木ダム事業がこうあるべきだとか、川棚川の事業がこうあるべきだということを言ってしまうと、それは今回の目的があくまでも石木ダム事業とか川棚川の整備についてどうするかを判断することからいうと、最初に私がこう思っているとかこうあるべきだと言ってしまうと、いろんな意見を予断なく聞いた上で判断したいということと反してしまうものですから、今日のところはご意見は確かに承りたいと思いますけれども、私の方でこれはこうすべきだというようなことを申し上げるのは控えさせていただきたいと思います。

●B 様

一方通行という訳ですね。

○進行 平田知事

そこは申し訳ございません。

●B 様

わかりました。

●C 様

回答はちょっとできないんですね？

○進行 平田知事

質問とかについてですね、例えば事業をどうするべきかということを今回答することはありませんけれども、お答えできることについてはもちろん大丈夫ですけれども。

●C 様

要望とか、なんとかは大丈夫？

○進行 平田知事

要望は大丈夫です。ご要望やお考えを伺うために来ておりますので、そこはぜひおっしゃってください。

●D 様

よかですか。知事が来らすということで、何か言わねばねと思って一生懸命考えてきました。私は、日向です、棚田のところ。日向地区の者です。まず言いたいことは、日本全域で人口減少が起きている。佐世保の水使用量も要するにだんだん減ってきているんじゃないかということで、ダムは見直すべきだと思ってます。

そして、もう一個考えたのは地球の温暖化で南極とか北極の氷が融けたら海面が上昇すると聞いておりますんで、それなら海岸べたの低いところに住んでる人とかさ、川のそばに住んどる人はさ、まあ、東北地方の津波とかもありましたので、そこんにきも。

人口減少で空き家が増えたりして、そういう人をですね安全な場所に行けるように何か。自分が住んどるところが一番よかろうばってん、そういう人たちが引っ越しをするように。

今の川原の人はここが一番良かけんておらすとやけんが、そういう人たちが引っ越しせんで。川棚の川の下流とかさ、海岸の低い地域に住んどる人のことを津波とか来た時のことも考えたら、何とかよか方法ば考えてさっさんと。まあ、自分の考えはこれで、まだ、いろいろ言いたいことはあるけど頭の整理がつかんですね、また、思い出したら言いたいと思います。

○進行 平田知事

海面上昇の話ですね、ありがとうございます。

第3回 石木ダムに係る有識者の意見を聞く場(木場地区)議事録

日時:令和8年8月18日(火)18:30~20:00

●B 様

よろしいですか。ちょっと腰が悪いもので座ってよろしいでしょうか。

○進行 平田知事

はい、どうぞどうぞ。

●B 様

知事にはこうやってこちらまでお忙しい中にお出でいただきましてありがとうございます。感謝申し上げます。私はこの地に生を受けて●●年になります。いち後期高齢者でございます。

戦後間もない激動の時代に生まれまして、当時、この地区に60戸くらいだったかと思います。その中において、我々同級生が17人と。実に、3.5戸の家に1人というような感じで、いわゆるベビーブームに育ったということでもあります。

こちらに大正時代より佐賀県から伝わる町の無形文化財でございます、浮立がございまして、夏には祇園祭、秋にはおくんちというような感じで、町内で催され、子供の頃から慣れ親しんできたところでもあります。

地区の繋がり、あるいは思いやり・団結は、田舎ならではの固い絆というのが当時からあったと私は思います。それが一変したのがこのダム問題ですね。

賛成、反対に地区内が割れ、反対派と機動隊が衝突しまして、仕事もほっぽり出して、反対運動に明け暮れたというようなことがございます。

今まで仲が良かった、親しかった分、複雑な溝と言いますか、深く大きく信頼関係を損ないました。そして、前代未聞の自治会解散まで発展したのでございます。この解散をやったのが当時の自治会長でございました。賛成、反対の間に色んな葛藤の末の結果でした。このようにダム問題に常に翻弄されてきたわけですね。

まして、川原地区の13戸の人たちの心痛、あるいは苦痛というのは言葉では表せないものがあるのではないかと思います。

この地区は、今でこそ自治会、あるいは、木場郷というのは元の姿に戻ったわけでございますが、二度とこのような悲しい事態にならないように、肝に銘ずるところであります。歴代の知事から聞けなかった率直な気持ちを今回伺いたいと思っておりましたが、知事のご発言は聞くだけということでございますので、今後どういうふうに判断されるか。将来に禍根を残さないためにも、慎重に本当にご判断願いたいと思うところであります。どうぞよろしくお願いいたします。

○進行 平田知事

はい、ありがとうございます。

●D 様

ちょっと、いいですか。強制測量とか強制収用とか、強制してまでする必要がないんじゃないかと私は考えておるんです。さっきそれを言おうかなと思ってまして、今思い出しました。強制というのはなかなか難しいんじゃないかなと思うんです。

○進行 平田知事

わかりました。ありがとうございます。

●E 様

地域振興で水汲み場を移転して、あとそういうとでやろうと考えとっとですけど。それに伴ってうまくいくよう、今県道嬉野線、下木場から中木場まで工事が進んでいきよっとですけど。もうかれこれ7年、まだ完全に繋がとらんということで、8年から9年かかるとかなと思っとるとですよ。

それに伴ってそれから上ですね。中木場から上木場が含めて、今1車線になってるところが7カ所。当然、上ったり下ったりすればそこで待ったり、バックしたりせんといかんということで、3年くらい前に私言うたんですけど、要するに、下木場から中木場まで工事をしよる間に、それから上を測量なりを進めてくれと言うとっとですけど、なかなかそれを実行されず、今、現状になつとるということですから、1車線とか、途中で2車線とかあるもんですから、子供たちの自転車通学とか、それから、町からとか波佐見とか早岐から上ってくるとですけど、当然その人たちはわからんですよ。地元の人にはあぶないからと思って止まらんばやったり、途中で行ってバックしたりして、当然、事故の元にもなるということですから、今、平田知事がみえますから、後含めてですね、今から先、下木場から中木場含めて。今、下木場から中木場まで600mですか、が工事されて、そこで、7年から8年かかっているということですから、今からしたら当然、測量、用地買収、それから入札をしていかんと、いっちょいっちょ。そして作るってしたら、これから先は倍くらいあつとすもんね。そしたらもうあと10年、15年かかってくるっていうことですよ。そういうのをどんどん進めてもらって、次は当然、地域振興とかいろいろやるとに、お客さんがどんどん上ってくるし、またこうできるということになれば、地域振興策というのもどんどん進めていけるんですよ。そういうのを考えて、安全と、そして、また夜間。だんだん後期高齢者が増えてくるということで、事故がないように含めたもので、その辺を進めてもらいたいということですから、半分というか、もう6年か7年くらいで完成するくらいの気持ちでやってもらいたいと、一応、要望します。以上です。

●C 様

それに関連してですね。知事さんをお願いしたいんですけども。

○進行 平田知事

はい。

●C 様

県道の106号線ですね。これを佐賀県と協力して貫通してもらうようにしていただきたいなと。そして、木場は残存地域でしょ？そいけんがもう、行き止まり。

県道を通してもらってですね、嬉野からこっちに、佐世保からも人が行ったり来たりされるし、経済効果はあるっちゃないかと思いはしとるとですよ。

そいけん、佐賀県と話し合いばせんばとですよ。そいけんが、波佐見も野々川も有田の方に通じてるでしょ。ああいう形で。殆ど大体、ダムに通じてますもんね、県道も国道にしても。そういうことで知事さんお願いしたいと思います。付け加えてですけど。

○進行 平田知事

ありがとうございます。他にいかがでしょうか、どうぞ。

●F 様

今日はありがとうございます。ダム事業もですね、もう50年以上ということでもあります。ここの地区も、今言われたように、賛成、反対で割れて、結果いろいろあった地区でございます。

しかしですね、ここは残るということでお互いですねそういうこともありましたけども、一緒になって今のこの地区があります。

このダムはですね本当に必要なのか、必要じゃないのかはですね、もう分かっているんじゃないかなと思っています、その決断を知事がされると思いますけども。

佐世保でもですよ、水が足りないからということが始まったと思います。しかしですよ、少子高齢化、人口も日本全国減っている状況ですよ、本当に佐世保地区が水が必要なのかですね。

それと災害ですね。下流の地域が水害があった時には、ダムがあれば止めることができると、データもあったんでしょうけれども。近年ですね、大雨が降る。この間千葉でですね線状降水帯で1時間に100mm以上という猛烈な雨が降っているこの気象状況がですよ、本当に日本全国であっております、世界中ですね。ダムが必要であればダムでその時水を止められるというのがありますけども、一気に降った時にダムでは止められないと思います。必ず放水はされると思います。そういった時に、下流の方がですね水没する、人工的に水害が発生する危険があると思います。本当にこのダム事業が必要なのか必要じゃないのかは、知事の判断で決断できる時期にきていると思います。木場地区は、できようができまいが、残っていく地区であります。われわれ今から残っていく立場としては、やはり、先ほど言われた地域振興ですね。木場地区の、過疎化にならない施策をつくっていただいて。

今検討委員会で検討をしております。県道の問題、この県道も今言われたように嬉野線通すことによって、本当に佐世保のためになると思うんです。嬉野には新幹線が通っていますので、ここを通していけば、佐世保の地区も潤っていくのではないかと私は思いますので、決断をしていただければと思います。以上です。

○進行 平田知事

はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

●G 様

はい。

○進行 平田知事

はい、どうぞ。

●G 様

ダム事業につきましては、木場もずっともめたり何かして、やっと、今一つにまとまって。部落が割れたのが一つになって15年か20年ぐらいなるんですけど、ダムができる場所は、川原地区で隣の地区なんですね。そことの交流とかもあって、木場の人もダムに反対する人も何人かおらずですけど、反対じゃない人も川原の人と交流をしたりしているわけですよ。ですので、大手を振って「ダムを作ってくれ」とか言いにくかです。したいね、大体ね。

そがん言うよりも、言わんほうが、何といひかな、差し障りがないといひか、そういうふうには多分、皆さん考えているんじゃないかと思うんですよ。

昔はダム対策とダム反対とでいろいろ争ったりしていたんですけど、今はそういうことはない。

ですので、ダムはどっちでもいいけど、県道の整備とか、地域振興策。もう地域振興策とか手遅れかなって私は思いよとですよね。

今の県道の整備もダム事業と一緒に今新たな工事の発注は止めてあるとですかね?そうすると、今の県道、仮設のように県道ができてますけど、通ってこられたと思うんですけど、一番使いにくい道なんですよ。今坂を上って、遠回りして、あそこに出るというような。今のままで例えばダム事業進んであそこを締め切るとかなったら、ちょっともうほんとに昔よりも不便になってしまうもんですから、ダム事業は一時的に止められていいと思うんですけど、県道の方はできるだけ進めてほしいというふうに思ってます。

先ほど嬉野の方についていう話があったんですけど、そういうふうに向こうからの交流人口とかがないと、木場に加工所とか、販売所とか、今計画をしようとしてますけど、交流人口が増えないと逆にそういったものを作ってもらっても負の遺産になるんじゃないかなと。固定資産税も払えない。光熱費も払えない。ここの公民館もこんな大きな立派な公民館を作ってもらいましたけど、火災保険とか今、年間20万以上払って、はっきり言って郷費が赤字状態なんです。赤字状態で繰越金が減って年々減っていっています。そういった状況ですので、そういった県道とセットで振興策を考えてほしいなというふうに思ってます。

それと、今黒山までJRバスがまだきてるんですよ。もう終わった?来てたんですよ。向こうから新幹線の利用者がこっちに来れるような形になってくれんかなと。今聞いたらもう来てない。彼杵の方にも行ってないんですよ。そういうふうにして交流人口を増やせないかなというふうに思っていましたけども、それも手遅れかもしれませんね。

ですので、ただ列車の貫通って言うんですかね。そっちは途中で取り止めになったとですけど、元の久保知事の時に約束されてることなんですもんね。ですので、その見直して言いますか、そういうのをさせていただいて、振興策とセットで整備ができないかという要望をいたします。以上です。

○進行 平田知事

ありがとうございます。

●B 様

いいですか。

○進行 平田知事

はい、どうぞ。

●B 様

今の質問に対して、関連ですけど、もし知事がゴーサインを出して作るという決断を出された場合ですね、今の道路がずっとできておりますけど、逆に今度は反対側もですね、いわゆる管理道路ということで、県の人は説明されたんですね?

その道路のやっぱりなんて言いますか、今岩屋を通る主幹道と変わらぬような道路にしてもらえないかなという今ちょっと話がありましたけど、現状の今一番そこを走っているその県道がそれに比べたら2.3キロメートルだったと思いますが、延長が伸びるということですよ。

本当、アップダウンが多いこの道を子供たちも自転車で通学とか何とか今からあるわけですね。だからいわゆる反対側の道っていうのも今の管理道路じゃなくして、通勤通学に使えるようなそういうような道にしていただければと思います。

○進行 平田知事

はい、ありがとうございました。管理用道路ではなくて、普段使いできる道路ですね。

●B 様

そうですね。

●H 様

はい。

○進行 平田知事

はい、どうぞ。

●H 様

今と関連してなんですけど。県道の方も25年前ですかね、地域振興策の話し合いで本当は2車線、中央線の入ってる片側1車線の道路やったんですけど、土地収用法で法律でどうのこうのと言って、全然計画と違うような道路になっているんですよ。片側通行みたいな車1台しか通れないような。

何ていうのかな、いつの間にか変更になって県のいいように道を作っているようで。25年前に聞いた時は、本当に便利になって、離合せずに、どんどん走って、今よりもっと便利になるって話で聞いてて、おお、それだったらいいなって思ってたんですけど、もう全然。50年前の話もなんでもそのまま進めていっている様子がどんどん報じられていて、何も思っていないような。ただ、自分たちが与えられた仕事をしてるだけで、本当に、何て言うか、困ってます。

あと、本当に、50年前に計画したこのダムですけど、高校の子供たちが帰ってきてですよ、お父さん、川のきれいかなっての話をずっとですよ。何ていうのかな、川の流れをやっぱり止めたらいかんじゃないかなと思って、こちらのの人にこの前相談したら、ダムの底を通すような川の流れを組んで、ちょっと大雨が降ってきた時には閉めてそういったダムも、もう考えていってもいいんじゃないかなと思います。作ったのは、佐世保市が要らんは、何で自分たちが苦勞して建てた。バカのごと、自分たちで喧嘩までして、そがん思いまでして、ダムを利用されんようなそがんダムであつたら、ちょっとほんとにもう、怒ります。まあ、以上です。

○進行 平田知事

はい、どうぞ。

●D 様

ちょっと上手く言えんかもしれんですけどね。川、自然環境を守るということで、川の流れを止めない。いわゆる水の中の酸素が消費されてというか、水が貯めておかれても水質が悪くなると思いますね。

そして、何でそれを考えたかといえば、ここの川原のところの水を家からドボドボ下に落として、いわゆる空気を水の中に取り込んで、それをバクテリアとか微生物とか魚とかそういうのが、例えば、木の葉とかなんかいっぱい流れてきてるのを水を浄化するんですね。ものがあると考えたの。

そいけんが、ダムを作ったら自然がちょっと壊される。下流域の水質も悪くなるというのが言われてますね。そういうのを、私が聞いたのは、熊本県に行ったときにダムをいっぱい作っとして、下流のわかめとかも影

第3回 石木ダムに係る有識者の意見を聞く場(木場地区)議事録

日時:令和8年8月18日(火)18:30~20:00

響を与えている。わかめとか魚があまり獲れなくなったということをダムをいっぱい作って水質が悪くなったってことを聞いたんですね。

そういうことを考えたら、やっぱり、石木川の水が澄んでいるのは、ドボドボ、ドボドボ、ジャージャー、ジャージャー水の中に空気を取り込んで、そこに魚とか生物がいっぱいいて浄化してるんじゃないかということは考えられるんです。

そういうのを、大事に無くさないようにしてほしいなって私は考えています。

○進行 平田知事

はい、ありがとうございます。他の方、どうぞ。

●C 様

上木場に共有林を持っているんですけども、30町ぐらいありますけども、共有林を県有、

○進行 平田知事

共有林？

●C 様

共有林、はい。をですね、県有林にしてもらえないかと思ってるんです。

○進行 平田知事

それはどういう趣旨というか、意味合いというか。

●C 様

山も荒れたりして、森林組合でしているんですけど、結構荒れている状態になっているわけですよ。

○進行 平田知事

地域で管理できなくなってきたということですか。

●C 様

そう、そういうところもあるし、高齢化もあるし、管理できるところもあります。

皮肉なものでなかなか、端々とかはちょっとしてない状況ですけど。まあ、県有林にしてもらえればなっていうことで要望ですけども。

●B 様

今のを補足しますと、木場には、上木場、中木場、下木場ってあるんですけども、この上木場で持っている共有林っていうことで、約30町あるわけですね。これが、その価格、材の低迷とかいろいろあって、伐採したり何とかっていうのは、ここずっと、やっていないんですね。

だんだん、高齢化もありますし、管理をするのが難しいっていいですか、もう若い人は、山には関心がないというようなところで、これから先どうなるかな。今言ったように、やってるわけですけど。

本当これから先どういうふうに持っていけばいいかというふうなことですね。

○進行 平田知事

他いかがでしょう。今、主に道路の話ですとか、あるいは、これまでずっとダムの事業の中で、地区が割れて、いろいろ経緯がある中で今に至っているという話とかいただきましたけども、何かそういったことに関連してでも結構ですし、あるいは、違う観点からの話でも結構です。はい、どうぞ。

●I 様

子供会からです。今、6世帯ぐらい子供会はいまして、子供15人位います。今までの子供たちは自転車でツーって行っていたんですけど、やっぱり今の道路はジグザクというか、とても子供が自転車で行けるような道路ではないのは、工事上もうしょうがないかなと思うんですけど、今後、まだ一番下の子は2歳ぐらいで、まだまだ通学も自転車でできる子もいますと思いますので、みんなで自転車で道路を作っていたら、安全な、やっぱり、そこら辺は。いずれは大きくなる子供たちですけど、まだ数年は学校に行くのでその辺を考慮していただきたいなと思っています。

あとは、この間、地域振興策の総会に初めて出させていただきました。で、何年も前からこの総会とかお話し合いがあったのは知っていたんですけど、なかなか出られていた方からもお話を聞くと、なかなか加工所とか水汲み場の移転の話は進んでないというような感じで聞いていたんですね。

この間初めて参加させていただいて、なかなか進まない中だったんですけど、とりあえず、加工所の設計図が既にたたき台と言うような形でできているというのを見させていただきました。

それも多分、前回とかもお話されていたみたいなんですけど、どうしても木場の、木場のというか、ダムの地域振興策に出ている方は知ってるんですけど、その下の、私達が全く、それは情報共有ができていない木場の、木場があればいいんですけど、全然知らない状態でここまで出来ているというのを聞いて、ちょっと驚いたところもあります。

この話はこの間もお話をさせていただいたんですけど、それでちょっと、たたき台ですけど12月ぐらいまでにはもう、決めたい？設計ができるという話を聞いたんですね。

ただ、数年前に話されていたときの婦人部20人くらいいらっやっていたのが、今もう、10名切っている状態の女性部になって、その加工所を担っていくのは女性部で、ということなんですけど、やっぱり、実際、皆さん仕事もしてるし、子育て世代とかっていうのもあるのと。

あと、まだ何を加工するとか、その辺も何も全く決まっていない状態で設計図ができている状態なので、ちょっとその辺は一旦とめると言うか、女性部とダムの対策事務所の方と、この間、名刺交換したので、この今後話し合いはしていきたいと思っていますけど、そこをしっかりと煮詰めないで早急すぎて頭が追い付いていないというか、実際、担っていけるのかという不安はすごくあります。

水汲み場についても、水質が変わるんじゃないかと。移転することで水質が変わるんじゃないかという意見もあって、そのところがクリアにならないと本当に水汲み場がすぐそこです。すぐその下のところまで持ってこれるのかというのが不安なところでして。それが水汲み場には結構、今、水を汲みに来られる方結構いらっやるんですね。その方々たちをターゲットに、その加工所があれば人は来るのかなって思うんですけど、水汲み場が移転しないのであれば、加工所を作っても人は来ないんじゃないかなっていうこともあって、水質調査とかその辺をしっかりとクリアにさせていただいてからの加工所のお話がいいのかなと思っています。同時進行というのはなかなかですね。やっぱり急がれてる感はずいぶん感じたんですけど、そこは私達が将来担っていかなければいけないのであれば、じっくり検討したいところではありますし、何せ、皆さん、素人なんで、販売とか営業とかしたことないので、それを木場の少ない人数でやっていけるのか、っていう

第3回 石木ダムに係る有識者の意見を聞く場(木場地区)議事録

日時:令和8年8月18日(火)18:30~20:00

不安がすごくあって、高齢化もありますし、やっぱり若い世代がなかなかというのもあるのでその辺も知事に知っておいていただきたいなど。

先日の話し合いですごい前向きにお話をしてくださったので、反対というわけではなく、しっかりこの意見を聞いていただいて進めていってほしいなというのがあります。お願いします。

○進行 平田知事

分かりました。ありがとうございます。はい、どうぞ。

●J 様

木場地区には、折角、虚空蔵っていう山がありまして有名なんですけども、その整備が、トイレとかも汚いし、整備もできてないので、こういうふうに木場の振興を考えると時には、山の方も折角ですので、整備したり、木を切ったり、皆さんがいっぱい行けるような形にさせていただいて、そして、木場を盛り上げて、いろんなことしてもらいたいっていうのが私からの意見。

○進行 平田知事

山の方のトイレとかが汚かったりするんですかね。

●J 様

そうですね。その上にある水汲み場の上の方にずっと虚空蔵っていうのがありますので、そこをやっぱり地域の活用っていうか、もっと皆さんが登るようなそういったことで地域が活性化するような形で整備をもっとしてもらえれば、またちょっと違うかなという私の意見です。

○進行 平田知事

はい、ありがとうございます。どうぞ。

●K 様

すみません、また補足です。今、水汲み場の近くに住んでいる住民なんですけど、折角、何十年も前から水が出るということで、虚空蔵の形のシンボルの山に登るための通り道で、手を洗って、水を補充して登るという言い伝えがあったみたいなんです。

それがぶっちゃけ、こちらに撤去された。ポンっと移動されて、公民館の近くにですね。今まで従来使っている施設が全く更地になるってちょっと聞いたんで。そこを折角もうずっと郷の方もきちんと守られてきて。

なおかつ、登山道の入口のところにもトイレがあるんですよ。それも、住んでいる住民の方がきちんと清掃されて、気持ちよく登山できるようになさっていらっしゃるんですよ皆さん。本当に助かっていると思うんですけども。そういう、ちょっとしたサポートとか、そういう小さな意見とかもやはり、県の方たちにこういうところまで聞いていただきたいなという気持ちもあるんです。

特に男性の方は結構、意見を多分おっしゃると思うんですけど、私たち女性はなかなか、意見を発言する場とか先輩、諸先輩とかたくさんいらっしゃいます。そういった方の住民の方の一つ一つの意見をアンケート形式でもいいですし、足が不自由だから、ちょっと参加できないご高齢の方もいらっしゃると思うんですよ。そういう方もまんべんなく、一人一人のご意見とかをくみ取っていただきたいなって思っている次第です。

登山道の近くに林道が通っているんですけど、そういうところの整備が本当に。私も使ってはいるんですけ

第3回 石木ダムに係る有識者の意見を聞く場(木場地区)議事録

日時:令和8年8月18日(火)18:30~20:00

ど、すごいこの時期はイノシシとか雨。大雨の後とかに大きな石とかですね、道路に転がっている状況でよけたりはするんですけど、そういったところも管理体制とかを見直していただけたらなって思っております。以上です。

○進行 平田知事

地域振興については、道路だけじゃなくて今の加工所の話とか水汲み場の話とかいろいろお話もいただけてますけど、関連して、何か、地域振興策のところでございますか。どうぞ。

●L 様

この集落、水汲み場と加工所の移転、移設の計画で、いろいろ初めて私も聞いたところもあったんですけど、その辺でちょっといろいろ自分が思っていることをまとめては来てはいるんですけど、知事に直接は渡すことはできないのかなとは思ってますけど。

○進行 平田知事

お預かりをして、はい。

●L 様

大丈夫ですか?はい。後でお渡しします。

○進行 平田知事

はい。

●L 様

もう一個、今、道の整備を途中、途中やられていると思うんですけど、知事も、今日ここまで来られた時に道が狭いというイメージを持たれたかと思うんですけど、このちょっと下のところで橋の工事が今終わっているところがあるんです。そのこの現道のカーブのところに橋が架かってて、ちょっと見通しが良くないんですね。だから、そこを早急に対応してもらったら助かるかなっていうのが一つ。

それと、迂回路で今整備をされているような道路があるかと思うんですけど、碎石場のところから新しい道をですね。そこが夜真っ暗でとても暗くて通りたくないという道なんです。その辺の街灯の整備とかをしないともう誰も道通らないと思います。

あと、ここから上もどんどん道が狭くなっている一方なんで、そこも早くなんとかしてほしいっていうのがあります。

○進行 平田知事

そのほか如何でしょうか。石木川の治水とか環境とか川に関することとか何かございませんか。

●L 様

治水も一つあります。うち、5年ぐらい前に大雨が降った時に、ちょうど目の前に小さい川があって、普段はもう水が全然流れていないような川で、そこにちょっとまあ、ヒューム管があったんですね。

第3回 石木ダムに係る有識者の意見を聞く場(木場地区)議事録

日時:令和8年8月18日(火)18:30~20:00

そこが山から流れてきた流木とかで塞がって、それで、その川が氾濫して、うち、床上浸水の被害があったんですけど。

それでまあ、うちから下った道路もきれいに工事されていたんですけど、車が通れないぐらい陥没したりして、とても不便だったので、そこら辺を視野に入れてほしいなと思います。

○進行 平田知事

はい。

●D 様

今、言っているのは、水汲み場のところに小さな土管っていうのかな、その上に土管を入れて道を作っているんですね。谷の川に径の小さい土管を入れて道を作っていて、そこに長い材木とかが詰まって、道をずっと流れて下ったんですよ。ああいう小さいものを使わないようにしてほしい。もうちょっと橋を架けるとか。工事の仕方が何かこれじゃつまらんというか。普段は水が流れていないが、水が流れたときにすぐ引っかかる。そういうのを考えて工事をしてもらわないと困る。

○進行 平田知事

ありがとうございます。最初の方にいただいた話の中で、どうしても以前、集落の中でダムの賛成反対で割れてってということがあって。今はそういった話もある程度、地域が一つになってというお話だったかと思いますが、やっぱり皆さんとしても、そういった地区が分断されるような事だけやっぱり絶対避けなきゃいけないっていうお気持ちは共通してお持ちだということですよ。

やっぱり、ご高齢の方は自分が当事者だったでしょうし、あるいは、親の代の人たちが結構ご苦労されたとかそういう話を聞いて育って、そういう話を随分聞かれたものですか？

●C 様

親父の時代が結構ですね、賛成、反対で。私どもも関係はしてるんですけども。まあ、その、親父の時代がすごく賛成、反対してきとって、そして、してきた状況なんですけども。

●A 様

でも、木場地区の人は悪くはないんですよ。みんなダム作るって言って、そこで賛成反対ってなって。本当は仲良しやったとですよ。本当、よりを戻すのは大変です。

○進行 平田知事

川原の移転された方も、残っている方も、それぞれに皆さんいろんな人間関係もあって、交流もあってってところなんですよ。

●C 様

やっぱり、人間関係はですね、ギクシャクしたのは事実です。

○進行 平田知事

両方あるわけですよ、当然。

●C 様

まあ、今こうして残存地域。残る地域ですので、どうしてもこう協力していかないといけないですね。

○進行 平田知事

そうですね。

●M 様

お疲れ様です。今までの話を聞いていると、もうダムが完成して、地域振興策がいろいろ皆さん要望があ
ってるんですけども、ダムに反対の人もまだいる人もいるわけですね。そういう人たちを賛成の気持ちにさ
せないといけないことだと思っています。

私たちが小さい時から50年以上にわたって、こういう問題があって、若いころお嫁に来られた方もダム
なしでは生活できない、常に過ごしてこられて、本当、その人の生涯をかけてのダムとの闘いみたいなこと
にされているので、それを私たちがダムを作って、こういうことをしてほしい、ああいうことをしてほしいと言っ
ているんですけども、そんな方たちの犠牲の上でできることであって、本当にダムが必要だったら、その方た
ちに「ダムがこういうことで必要なんです、どうかお願いします、作らせてください」って、佐世保市にしても、
川棚町の治水にしても、やっぱり、町民みんな、市民のみんな、そういった形が、気持ちを伝えないと、
今の膠着した状態がずっと続くと思います。

もう50年も経っているわけですから、もう変わらないかもしれないけれども、やっぱりそういう誠意を見
せてこそ、「まあ、そしたら。」、っていうことに、なるか、ならないかはわかりませんが、そこら辺はです
ね、知事さんに指揮を取っていただいて、なんか、こうできないかなと思っています。

このままだと、私たちと川原の人たちは仲良しだったのに、ちょっとね、禍根が残っていますから、そういう
こともあります。

それで、途中にもしダムができれば、家がなくなるわけですね。上石木のバス停の辺りから●●さん家の
辺りまで道路がぐねぐね上ったり、下ったりしているし、両サイドは、山とか、湖の水面とか、そういうのをず
っと通り抜けてこの木場まで来るわけですけども、今までは、川原に残っている人の家があったので家の明か
りがポツンポツンと見えて、そこら辺は暗くなっても、安心して来たりしたんですけども、それが、全くな
くなって、それを拒んで残っている人たちは、そこを通過して毎日行ったり、来たりしないといけないですね。

前もちょっとした事件があったのを危惧しているんですけども、何か必要であれば作らせてください
いうのもお願いしていかないといけないとも思うし。

岩屋にお墓があるんですけども、先日、昼間にお墓掃除に行こうと思うんだけど、一人では物騒で
行けなかったって言われたんですよ。昼間でも？と聞いたら、昼間でも何となく、山と山の間にいるから、や
っぱり人が見えないと、家が見えないとちょっと心配で、誰かと一緒に行かないと私たちもお参りできま
せんと言われました。なので、夜は真っ暗なみたいですので、そこらへんも、もしできたとしても物騒なところ
がありますので女性は特にですね、そして帰ってくる子供たちも冬になると5時すぎ、5時半になると真っ暗
になりますから、そこら辺、自転車で通るのかわかりませんが、たまたま歩いて帰ってくることになったと
きに大変物騒なので、そこら辺にも配慮をお願いしたいと思います。

そして、道路のことですけども、道路もぐねぐねした道なんですけど、昨日も火事が川棚町ありまして、
1.5キロメートルくらい渋滞したって言っていました。

それで、道路をですね。彼杵に行く人も、長崎に行く人も、嬉野に行くときにはどっちかを通らないといけ

ないので、やっぱり渋滞しますね。

だから、木場の方なら走れたらパって行けると思うんですけど。あの辺からできればまっすぐな道ができて嬉野まで行くといくらかは走らずに迂回して行けるので、私はダムができて、できなくても、道路だけはぜひ作っていただきたいなと思っています。

それから、水質のことなんですけども、ダムができることによって、川の流れがせき止められて、魚が自由に上ったり下ったりして、昔はウナギなんかも釣れていたみたいなんですけども、魚も行き来ができなくなって、水質っていうんですか、そういう環境が、生態が、変わるんじゃないかなと思っていて、ダムがあると土砂が下に流れなくなってダムの底に沈むと思うんですけど、海岸や川の環境も変わるんじゃないかなって思っています。プランクトンとかそういうのは魚の餌になってくれると思うんですけど、そういうのも少しは減って海も痩せるでしょうから、そういう海になってしまうんじゃないかなと心配しています。

大雨が降った時、例えば、水を止めるわけですけど、大雨が降った時のことを考えると、地盤が大雨によって、緩んでいるんじゃないかなというそういう不安もあって、洪水を防げないものじゃなくて、洪水を防げるようなダムを作っていただきたいと思っています。

そして、ダムができて、木場地区が陸の孤島って言われるような地区になると思うんですけども、そうなる若くは若い人はなかなか住まなくて、高齢化になると思います。今よりずっと振興策をいろいろされと思いますけど、それを利用する人もいなくなってしまう気はするんですけども、地域活性化のために工夫をさせていただきたいと思います。今みたいに色んな意見が出ると思うんですけども、賛成の人ばかり手厚くするんじゃないくて、できない方がいいなと思っている人もいらっしゃると思いますので、そこら辺をうまく、また前みたいに分裂しないように気を使っていたいただけたらと思います。今のところそれだけです。

○進行 平田知事

はい。ありがとうございます。

●D 様

ちょっとよろしいでしょうか。ちょっと自分が考えていたことがですね、昔ダムの計画がある前は、木場、川原、岩屋ってあって、3部落、3地区あって、それが岩屋の人は、ほとんど全部おらんようになりましたけども、移転して。一番上の人がね、自分は移転したくないって言って最後までいたんですよ、一人だけで。

自分が何を言いたかったかという、政府が地方創生ってあって、地方を元気にしようって言いよります。佐世保のところに水が必要だ、足らん、足らんって言ってダムを造らないとっていつ何十年も言ってきて、とうとう、岩屋地区も川原地区もほとんど少なくなって、その上、木場地区もだんだん過疎化になってきて、地方創生ってそういうのを言いながら、何かここの地区はあれしてですね。ちょっと文句言って進まんばってん、そうやって何十年も、50年もかけて、その時30代40代の人も、もう、おらさん人もいっぱいいた。そして、私は20代のときに。そしてようやく70代です。木場地区ももう70代以上がほとんど占めるようになってきて、何ていうか、佐世保はだいたい水不足、水不足。ダムを作れ作れって。市長も何回も変わって、全部ダム推進、推進って言って、足らんよ足らんよって。水は足りているですよ。

水需要予測は5年後には急に増えますよとか言っていますし。増えますって言っているのに、実際は使用量が少ないんですよ。そういうことをして、ちょっと、私が文句を言ってすまんばってんが、こっちを潰しているんじゃないかなって思って、私は、頭にあるんですよ。なんで、そんなに佐世保ばかり、あんまりかなって思うんですね。

そして、いろいろ話を聞けば、佐世保市は漏水が多くて、それをあんまり修理しようと思っていない。金が

かかるとか言って修理をしないらしいんですよね。人口も減ってきて、もう足りるんじゃないんですかね、普段は余っているんじゃないんですかね。はい、自分の考えをちょっと言いました。

○進行 平田知事

どうぞ。

●G 様

いいですか、2点。ちょっと要望というか、今、台風とか来よったとですけど、全く雨が降らんで。それで今、水汲み場、この前一週間、一週間くらい前かな、振興策の話し合い、私も参加したんですけど、そこから黒パイプをずっと引っ張って、こっちにもってくるって話して、ああそうかと聞いてたんです。水質の悪くなるとは、流しっぱなしにしとけば大丈夫とか言う話があったとですけど、今この水の無か状態で、今一番上にあってですね、その水汲み場を、こっちに持ってきたら、その周辺がですね、水が足らなくなるじゃないかって今心配してます。ですので、あそこは形は残さんでよかですけど、水の、なんていうかな出るところは一カ所くらい出しとって、で、そこから持ってくるんじゃないかって、こっちに新たにボーリング。そういうとでも考えてもらえんかなって、今の水不足ば考えればですね、軽トラックにタンクを積んで田んぼに水を持っていったような状況ですので、そこら辺もちょっと検討していただきたいなって思ってます。それとダムはできるかどうかわからんとですけど、例えば佐賀県の竜門ダムとかいろいろ行ったら、水の溜まった状態での上流部はやっぱり気温が下がるっちなかかなって思っとるとですよ。気温が。ですので、今の状態の関係調査。木場地区、水稻とか作ってますので、そういった調査を先にしとってもらって、それから影響がどうなのか、出来上がったときにですね、そういうふうな判断ができるような対策を先にしとっていただけんかなってという要望です。以上です。はい。

○進行 平田知事

はい。

●K 様

はい。

○進行 平田知事

どうぞ。

●K 様

水の流れにちなんでですけど、今、川棚町でもカビ臭がするって、水道の蛇口あけたらってことで。皆さんおっしゃってるんですよ、結構。川棚町の役場の方に問い合わせてみたら、水質の調査中ということで、多分、藻が発生しているんじゃないかって、こういう渇水の時期で。

だから、そういったやっぱり飲料水っていうか、本当に水って大事だなって。少しでもそういう匂いっていうか、やっぱり、使ってる方たちが異変を感じて、すぐ問い合わせをされてるんだと思うんですよ。

だから、そういう調査が必要不可欠だなということを今ひしひしと感じているところですね。こういった水やっぱり命の源の水だと思うので、きちんと調査をしていただきたいと思います。

○進行 平田知事

お話を伺っていて、今後の振興策、あるいは今の水の話とか、まさに今直面している話は当然大事な話で、いろいろ要望もいただきましたけど、先ほどその結局、木場の人たちの、まあ何といいたいでしょうか。のおかげで、ダムができる場合には、その人たちのおかげで色んなことが、水道の供給は佐世保もそうですし、上流の方もそうなんですけれども、から見えて、50年間、県の地元への対応というか、そこは正直なところどういうふうに映っているんですかね。要するにその、もっと誠意を見せるべきだっていう話もありましたけど、やっぱり、県の、川原、あるいは全体、ダムに関わる人たちへの接し方というか、説明の仕方とか、対応の仕方とか、やっぱり、そこは何と言うんでしょうか、どちらかというところよろしくないといったらあれですけど、

●F 様

地域振興策も平成から始まったんですけど、まだ途中で中断したってことは、やはり、そこで県の職員の怠慢じゃなかったのかなって私は思いますね。ずっと続けていけば、今もう振興策も先に進んでいったんじゃないかな。で途中でもう平成何年かな?で止まるととに、令和になってまた再開したってことですから、結局、その間は悪かですけど、ダム事務所の怠慢じゃなかとですか?そういうことも地域振興策のね、地区に対しての接し方。今は、今はですね、今はっていうか、まあ、良いのか悪いとかわかりませんが、仕事は仕事でされていると思いますけども。前、一時的には、そういうあぐらかいておられた職員もおったとでしょうけど。だから振興策も途中で終わったんじゃないでしょうかね。

○進行 平田知事

県としてこういうふうな地域振興策に向き合うべきだというご意見はありますか。

●B 様

向き合うじゃないですけど。久保さんから高田県政になった時にですね。その時点で、高田さんは官僚出身ということもあったんでしょうし、川原地区にみえた時にも、目線が上から目線なんですよね。不転の決意で臨むと、いきなり、冒頭からそんなことだったですね。

それで、高田さんの知事だった時だと思うんですけど、その当時の土木部長がですね、セドリックですか、クラウンですか。黒い大きな車で夕方来て、それを取り囲んだ反対派にね、降りてきて、「君らね。」という大きな声で、「君らは」というああいう一言ですね。

我々仲間からも俺らは虫けらじゃないぞと怒号と罵声がいっぱい飛んだわけですね。ああいうような姿勢が今の亀裂を大きくしていったと思うんですね。久保さんみたいに箕島の長崎空港みたいに接し方をしていたらひょっとしたら今はダムが出来上がっても佐世保市に水をゴンゴン送っていたと、私はそういう風に思いますね。最初の接し方、住民に関わる。そういうのがちょっと目線が違ったんじゃないかというふうに思いますね。

○進行 平田知事

やっぱりそれはずっと尾を引いている?

●B 様

尾を引いているということですよ。それは高田さんから金子さん、あるいは、中村さん、その人たちに引き継がれてきたんじゃないかと思いますね。

○進行 平田知事

はい。どうぞ。

●G 様

木場から見た川原の県の状態。私の子供も中学校の時は自転車で通っていたんですけど、県と、ダム反対の人と、反対の支援者といつもぶつかり合っているのを見ていたんですよ。そこを通ったりとかせんばいかん状況があつて。そういうのを見たくないし、自分の子供にも見せたくないなっていうような気持ちがずっとありました。

そういった気持ちで川原の中を見ていましたね。それで、今また、向こうで意見を聞いてってなってますけど、ちょっと言ったら悪かですけど、多分、反対される方はもう一貫して白紙撤回っていうふうなことしか頭にはあらっさんとかなくて。私がいろいろ感じるのそういう風に思っとなってますよね。

ですので、大体、裁判を向こうがされて、決着して、負けが確定した。それを双六みたいに振り出しに戻ってまた今しよらすわけですよ。それが果たして、いろいろ言ったらいかなんですけど、それに乗る県の方もどうなのかっていうのはある。ちょこっとは、少しは疑問に感じる。それが50年全然解決しない。そしてこれからも、もしかしたら50年解決しないかもしれない。そういった堂々巡りのような感じに私は見えます。

○進行 平田知事

ありがとうございます。今のに関連して、何か感じておられる方がいれば。まあ、なかなか言いづらい部分はあるかと思いますが。

●H 様

よく話を聞いて、工事を進めて、よく聞いてもらうんですよ。でも聞くだけ。例えばですよ、迂回路を通って、いままでより不便になってるんですよ。迂回路を通ってずっと、またこっちの山を越えていくことになれば、生活っていうか、ガソリン代も高くなるし時間もなくなるようになるので。例えば、前木場地区は水がいくら使っても3,000円っていうのがあったんですよ。そういうお金をやれって言っていないですけど、そういう感じに戻せんやろうかって、それだったらすぐ対応できるんじゃないですか?って言っても、5年前に言っても、しないし。本当に一日に3回も、4回も、迎えに行ったりされるんですよ。

本当に今までより不便です、本当に。大型トラックは来るし、クレーンは来るし、もう10m車をね、バックして石垣にぶつけた。帰っていく。それでもなだめて、ほんとには怒りがあるんですけど、でもそうやって生活は本当に困っているんですよ。できれば、もう、向こうの道路をずっと順々にしてくれれば、こんな狭い道路も、ダンプも来たりしないんでしょうけど。本当に何て言うか、なんかこう、迷惑かけよるとやけん、なんかこうね、ちゃんとしてもらいたいなと、そうですね。

○進行 平田知事

ありがとうございます。予定の時間も8時くらいまでと申し上げておりましたけれども、最後、何かこれだけはということがありましたら。

●N 様

これ以上里山の木々を切らないでほしいです。緑の里山を土まみれにしないで、自然を残していただき

第3回 石木ダムに係る有識者の意見を聞く場(木場地区)議事録

日時:令和8年8月18日(火)18:30~20:00

たいと思っています。以上です。

●J 様

また違うんですけど、10年後を考えたときに、今は運転できます。でも10年後、道は今よりも1.5倍になる、山の中を行かないといけない、周りに家がない、それなのに自分たちは年取って運転もできない。でも遠くなるとタクシーで行くと今よりもタクシー代が高くなる。もう今でさえ、行き帰り5,000円かかるんですよ。2,500円が往復で5,000円かかるんですよ、タクシーで。それが遠くなるともっとかかるような状態になるし、自分たちが本当にいろんなことをしてもらっても、自治体に自分たちが住んでるものが本当に10年後私は本当にここから病院に行ったり買い物に行けるかなっていう不安が一番あります。それと、ダムができると、ダムの周りが霧がすごいついて聞いたことがあるんですよ。そういうのも、そこが一番怖いんです、10年後。その後がですね。それだけです。

○進行 平田知事

ありがとうございます。今日は地域振興策の話が中心でありましたけれども、いろんな将来の不安、含めていろいろお話を伺うことができて、本当にありがとうございました。冒頭言いました通り、私も今専門家も含め、あるいは、地域の方々も含め、もう一度この石木ダム、あるいは、川棚川の整備に関して見直しが必要なのかどうかを最終的にしっかり政治的に判断したいということでいろいろお話を伺っているところでございます。そういう意味で今日、上流の木場地区の方々としてのいろんな思いについて伺うことができたので、こうしたことも頭に入れて今後判断していきたいと思っています。

今日は一時間半となりましたけれども、ほんとに遅くまで、お仕事の後の方も多かったと思いますけども、お疲れのところお時間をいただきましてありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

閉会

○進行 県事務局

それでは、以上をもちまして、「石木ダムに係る有識者の意見を聞く場」を終了いたします。

以上